

# 練習の仕方

須藤功平

株式会社クリアコード

SEゼミ2014 - リーダブルコード勉強会2  
2014/07/06

# 課題の目的

将来を見据えた  
リーダーブルコード力の  
レベルアップ

# 目指すこと

リーダブルコードを  
発見できるようになる

# 目指さないこと

- ✓ テクニックをたくさん覚える
- ✓ 難しいプログラムでも実装できるようになる
- ✓ 速く実装できるようになる

# 課題の傾向

- ✓ 技術的に難しいことは意図的に避けている
- ✓ 段階的に改良していく
- ✓ 時間内で実装しきれない分量
- ✓ **すべて実装する必要はない!**

# 練習としてやること

# 仕様1を実装

進め方の詳細はtask.mdを参照

# メモ

- ✓ 工夫したことはmemo.mdに書く
- ✓ memo.mdはリポジトリにpush
- ✓ ↓を含めるとよい
  - ✓ 実際のコードのURL
  - ✓ リーダブルな理由

# リーダブルコードとは

- ✓ 読む人基準
  - ✓ 読む人がリーダブルだと思ったらリーダブルコード
- ✓ 読む人の視点を意識してみて
  - ✓ どんな人が読む？
  - ✓ どんな前提知識がある？



# 困ったら1

- ✓ メンターに相談
  - ✓ メンターは**答えを教えない**
  - ✓ 一緒に考えてくれる
- ✓ **なんで！？ 答えを教えてよ！**
  - ✓ トレーナーが禁止している  
(参加者が考える機会を奪わないため)
  - ✓ メンターは意地悪ではない

# 困ったら2

- ✓ まわりの参加者に相談
  - ✓ 答えを教えてもよい
  - ✓ 一緒に考えてもよい
- ✓ ヒント
  - ✓ 答えを教えるときは理由も伝える  
(教える参加者が考える機会になる！)
  - ✓ 聞く人は理由も聞く  
(考え方を知ると新しい視点でコードを読める！)

# 困ったら3

- ✓ 他の参加者のコードを見る
  - ✓ コードから学ぶ!
  - ✓ この勉強会で大事にしていること
- ✓ ヒント
  - ✓ 参考にするときは理由を考える
  - ✓ どうしてこのコードがよい?
  - ✓ memo.mdに書こう